

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年3月25日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

東日本大震災 暮らしどうなる？ くらしナビA面 連載中

震災や原発事故への不安が全国的に広がっています。野菜や水道水から放射性物質が検出され、土壌汚染も確認されています。やまない余震で夜眠れなかったり、船酔いのような症状を起こす人もいます。今週の連載では、不安定な子供の心をどうケアするのか、余震が健康に与える影響、放射性物質による汚染をどう考えるか——などを探ります。



## 福島第1原発事故

写真家 広河隆一さん 緊急報告「『原発の町』から」

夕刊特集ワイド面 28日(月)



依然、予断を許さない東京電力福島第1原発。放射線物質という目に見えない「危険」から逃れるように、周辺住民の集団避難が続いています。そうしたなか、まだ騒ぎが拡大する前に、「原発の町」に入ったフォトジャーナリストがいます。チェルノブイルの取材で知られる広河隆一さん＝写真＝です。その広河さんは国の対応に大きな疑問を感じたといい、「情報伝達の面で大きな課題を残した」と話す、広河さんの目に映った「原発の町」は――。

## 基本のキホン 「神の火」の暴走

スリーマイル、チェルノブイリ——2大原発事故

夕刊特集ワイド面 31日(木)

深刻な被災を引き起こしている福島第1原発。その度合いを推し量るためにしばしば引用されるのが、1976年に起きた米スリーマイル島＝写真＝の事故と、86年の旧ソ連のチェルノブイリ原発事故。一説には、福島第1原発から放出された放射線量はスリーマイルを超え、チェルノブイリに匹敵するという指摘もあります。2つの事故はどういう内容だったのでしょうか。実際に現場を訪れたことのある放射線影響研究所理事長の長瀧重信さんら専門家の話にじっくり耳を傾けました。



「知りたいが分かる、」がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。